



®環境省
エコアクション21
認証番号 0003620

令和元年度 環境活動レポート

[対象期間 : 2019年4月1日 ~ 2020年3月31日]



一般廃棄物収集運搬委託・許可業者

株式会社 那珂川開発

令和2年4月1日

はじめに

本環境活動レポートは、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの環境活動の結果をまとめたものです。

(挨拶)

株式会社那珂川開発は創業以来、那珂川市において一般廃棄物収集運搬を中心とした、安心・安全の事業活動を行ってまいりました。

地球環境保全に基づいた省資源・省エネルギーの推進が急務な課題となっている中、当社においても廃棄物の排出削減など環境負荷を低減させる責任と使命を痛感しております。

平成21年以来、当社は廃棄物の分別の徹底及び排出削減など環境保全を推進する事を目的とし、エコアクション21への取組みを続け、地球環境に優しい地域密着型の事業活動に努め、社会的要請に応えてまいりました。

ここに当社の環境保全への取組みの成果を「環境活動レポート」にまとめましたので、ご高覧ください。

目次

I. 当社の概要	1
II. 認証・登録範囲	4
III. 環境方針	6
IV. 環境目標	7
V. 環境活動計画の内容	8
VI. 環境目標の実績	9
VII. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	13
VIII. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、 訴訟等の有無	15
IX. 代表者による全体の取組み状況の評価及び見直しの結果	15

I 当社の概要

1. 会社名及び代表者氏名

株式会社 那珂川開発 代表取締役社長 津屋 雅臣

2. 所在地

本社
〒811-1224 福岡県那珂川市大字安德 59-2



3. 法人設立年月日

昭和58年（西暦 1983）7月27日

4. 資本金

1,000万円

5. 環境管理責任者、担当者氏名及び連絡先

環境管理責任者：代表取締役社長 津屋 雅臣
EA21 事務局：代表取締役専務 津屋 博臣
TEL：092-952-9003
FAX：092-952-9007

6. 対象活動

- ① 那珂川市より委託を受けた一般廃棄物収集運搬業務（家庭系・事業系一般廃棄物）
- ② 一般廃棄物中間処理施設・啓発プラザの管理運営業務（エコピア・なかがわ）

7. 事業の規模

活動規模	単位	28年度	29年度	30年度	元年度
年商		区分A	区分A	区分A	区分A
収集運搬量	t	14,806.13	14,883.69	14,917.99	15,210.55
従業員	人	46	43	42	49
床面積	m ²	1,554	1,554	1,554	1,554

・保有車両：28台

塵芥車（パッカー車11台、4t ダンプ1台、アームロール1台）13台／
 キャブオーバー（軽トラック）2台／2t パワーゲートトラック1台／
 営業車2台／軽バン1台／乗用車9台

8. 許可一覧

- ・福岡県那珂川市一般廃棄物収集運搬業許可証（許可 第1号）
許可期間 令和2年4月1日 から 令和4年3月31日 まで
- ・福岡県春日市一般廃棄物収集運搬業許可証（許可番号 第23号）
許可期間 令和2年4月1日 から 令和4年3月31日 まで
- ・福岡県福岡市一般廃棄物収集運搬業許可証（許可番号 第45号）
許可期間 令和2年4月1日 から 令和4年3月31日 まで
- ・福岡県産業廃棄物収集運搬業許可証（許可番号 04000012140）
許可年月日 平成30年5月12日
有効期限年月日 令和5年5月11日

9. 加盟団体

- ・全国清掃事業連合会
- ・福岡県清掃事業協同組合連合会
- ・筑紫地区清掃事業協同組合

10. 処理実績

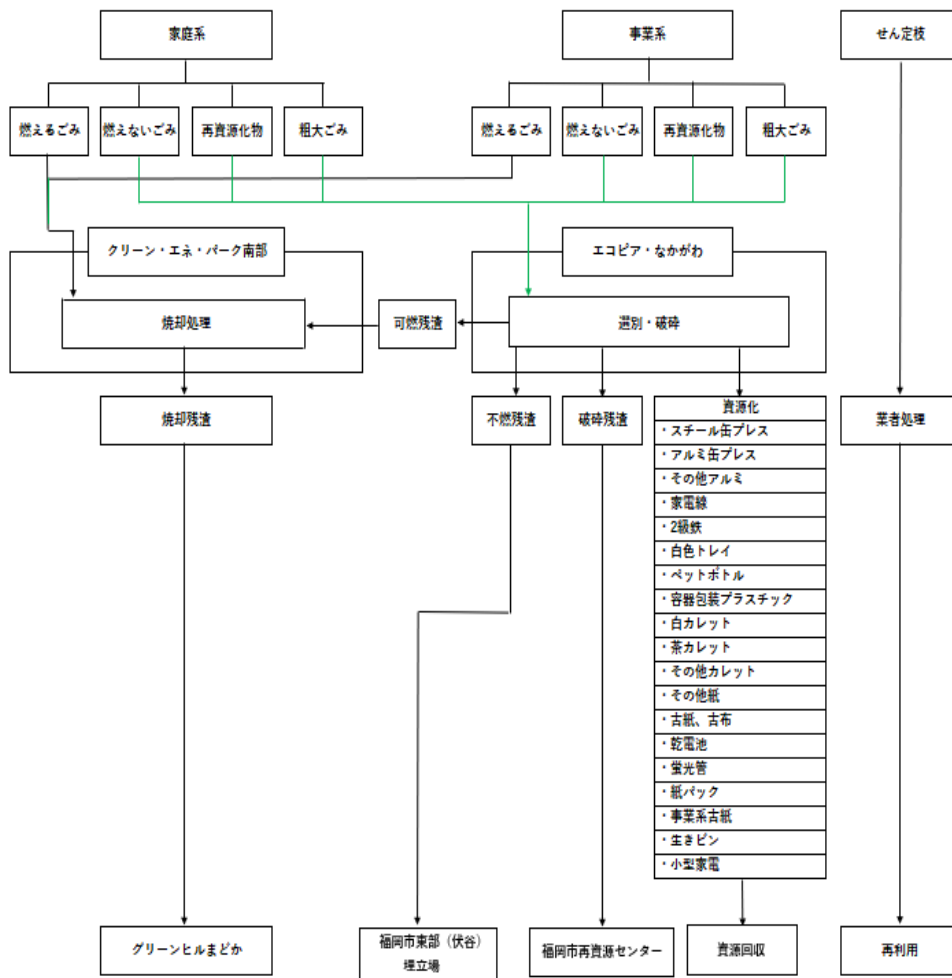
- ・ 那珂川市一般廃棄物収集運搬委託業務実績（平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日）
 一般廃棄物収集運搬・・・15,210,550kg
 産業廃棄物収集運搬許可業務実績・・・業務実績なし

なお、受託した収集運搬業務にかかる事業活動内容を次に示す。

受託した一般廃棄物の処理量（平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日）

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t
那珂川開発 収集運搬	家庭系ゴミ		12,769.23
	事業系ゴミ		2,049.20
	事業系ダンボール		227.40
	粗大ゴミ		55.89
	不法投棄処理等		108.83
収集運搬量合計			15,210.55

処理フロー図



Ⅱ 認証・登録範囲

1. 対象範囲：全組織

会社名 株式会社那珂川開発 本社

所在地 〒811-1224 福岡県那珂川市大字安德 59-2

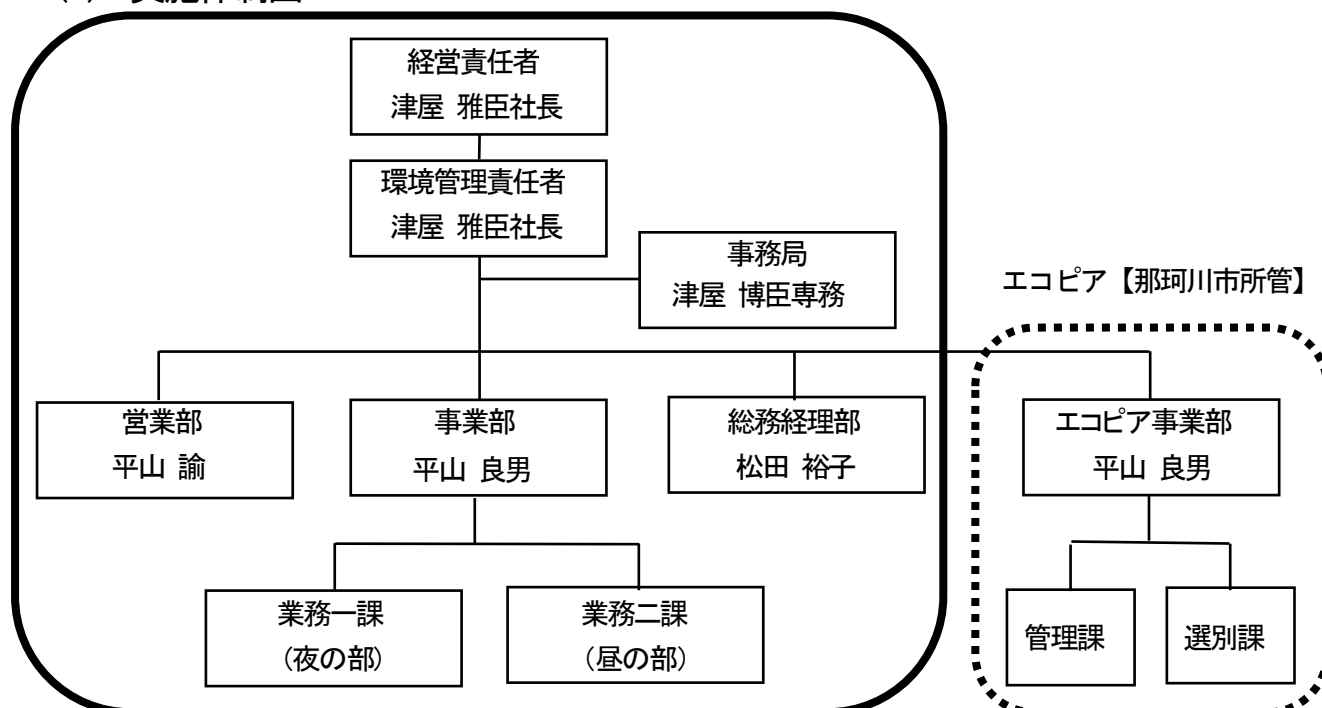
連絡先 TEL 092-952-9003 FAX 092-952-9007

2. 事業活動

一般廃棄物収集運搬業、一般廃棄物中間処理施設・啓発プラザの管理運営業務

3. 対象組織

(1) 実施体制図



(2) 役割分担表

【職名・役割】

職名	役割
経営責任者	<p>【代表取締役社長】</p> <p>①環境方針を定め、見直しを行う。 ②環境管理責任者をはじめ必要な責任者を任命する。 ③要員と所定の技能、技術と資金の経営資源を確保する。 ④環境マネジメントシステムの有効性を評価し、見直しを行う。</p>
環境管理責任者	<p>【代表取締役社長】</p> <p>①環境マネジメントシステムを確立、実施、維持、管理する。 ②社内外の環境情報(法規制を含む)の調査、伝達、広報を実施し、法規制及びその他の要求事項について遵守評価を実施する。 ③環境に関する教育、訓練を企画し役員会議を統括する。</p>
事務局	<p>【専務取締役】</p> <p>①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。</p>
定期役員会	<p>経営責任者・環境管理責任者・事務局で構成し、隔月1回環境管理者が召集する。環境目標・活動計画の策定及び、進捗状況について管理する。 環境管理責任者が必要と認めた者は出席することが出来る。</p>
提案改善委員会	<p>各課で週1回開催し、環境目標・活動計画の策定及び、進捗状況について管理する。</p>

Ⅲ 環境方針

基本理念

株式会社那珂川開発は、福岡県那珂川市の一般廃棄物収集運搬業務・許可業務及びエコピア・なかがわの管理運営業務を受託しており、循環型社会形成における重要な役割を強く認識し、その責任を確実に果たして参ります。

また安全かつ適正な処理は当然のこととして、当社の事業活動が地域に密着した活動であることをふまえ、環境保全を基本とした住民サービスの質の向上に努め、地域社会の期待に率先して応えて参ります。

これらの基本理念に基づいて以下の環境方針を定め、広く一般に公開いたします。

環境方針

1. 環境関連の法規制及び当社が地域社会やお客様と約束した事項を順守します。
2. この方針を実現するために以下のテーマを設定し、部門ごとの目的及び目標として展開します。
 - ① 省資源及び省エネルギーの推進
 - ② 廃棄物の分別の徹底及び排出削減
 - ③ サービス品質の向上
3. 環境マネジメントシステムを構築・運用することによりシステムの継続的改善を図るとともに環境汚染の予防に努めます。
4. この方針は全従業員及び当社のために働く人々に周知します。

制定 2008年 1月29日

改定 2018年10月 1日

株式会社那珂川開発
代表取締役

津屋雅臣

IV 環境目標

令和元年度から令和4年度までの環境目標は以下の通り設定しています。

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水資源使用量、事務用品等のグリーン購入は、これまでの取組による効果を考慮し、平成30年度を基準として、前年度比1%削減する目標を設定しています。

なお、電気の二酸化炭素排出係数は、2008年九州電力(株)の実排出係数0.374kg-CO₂/kWhを用いています。

小数点以下四捨五入

		本社				
目標項目		平成30年度 (実績)	令和元年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)	令和4年度 (目標)
		基準年	平成30年度比 1%削減	平成31年度比 1%削減	令和2年度比 1%削減	令和3年度比 1%削減
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)		224,795	222,547	232,325	230,002	227,702
廃棄物の削減 (kg)		327	324	320	317	314
水資源使用量の削減 (m ³)		714	707	794	786	779
グリーン購入	文房具 (%)	100%	100%	100%	100%	100%
本業における環境配慮 (回)		4	4	4	4	4

		エコピア・なかがわ				
目標項目		平成30年度 (実績)	令和元年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)	令和4年度 (目標)
		基準年	平成30年度比 1%削減	平成31年度比 1%削減	令和2年度比 1%削減	令和3年度比 1%削減
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)		58,767	58,179	60,829	60,221	59,619
廃棄物の削減 (kg)		360	356	346	342	339
水資源使用量の削減 (m ³)		448	444	343	339	336
グリーン購入	コピー用紙 (%)	100%	100%	100%	100%	100%

V 環境活動計画の内容

1. 廃棄物収集運搬車両からの二酸化炭素排出量（排ガス）の削減

活動項目
アイドリングストップの徹底実施
空ふかしを行わない
急発進、急加速を行わない。
法定速度の厳守、一定速度運転
車両出庫時の日常点検実施

2. 電力の使用節減による二酸化炭素排出量（排出ガス）の削減

活動項目
事務所、車庫休憩室での休憩時間の消灯
未使用時の設備電源 OFF
冷暖房温度の設定（クールビズ・ウォームビズの推進）
省エネ機器への切り替え導入
排風ファン等の使用を控える

3. 水資源の適正使用への管理

活動項目
車両洗車時、大きなゴミを掃き出し、洗車時の水使用を抑制する
給湯使用時のムダをなくす
トイレタンク容積水量調整による使用量の削減

4. 廃棄物の排出削減

活動項目
排出量の管理
紙類の使用量の削減
再生紙の使用推進
両面活用

5. グリーン購入の推進

活動項目
低環境負荷商品（文房具）の購入推進（本社）
低環境負荷商品（コピー用紙）の購入推進（エコピア）

6. 本業における環境配慮

活動項目
教育訓練の実施
啓発活動の実施

VI 環境目標の実績

令和元年度環境目標の実績は以下のとおりです。なお、電気の二酸化炭素排出係数は、2008年九州電力(株)の実排出係数0.374kg-CO₂/kWhを用いています。

小数点以下四捨五入

目標項目		本社		
		令和元年度		
		目標 平成30年度比 1%削減	実績	達成率
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)		222,547	234,252	95%
2. 廃棄物の削減 (kg)		324	323	100%
3. 水資源使用量の削減 (m ³)		707	802	87%
4. グリーン 購入	文房具 (%)	100%	100%	100%
5. 本業における環境配慮 (回)		4	4	100%

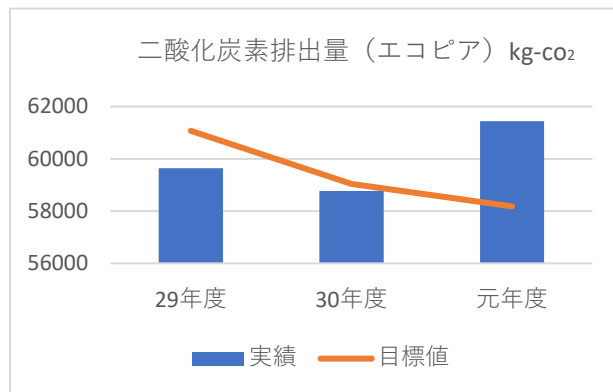
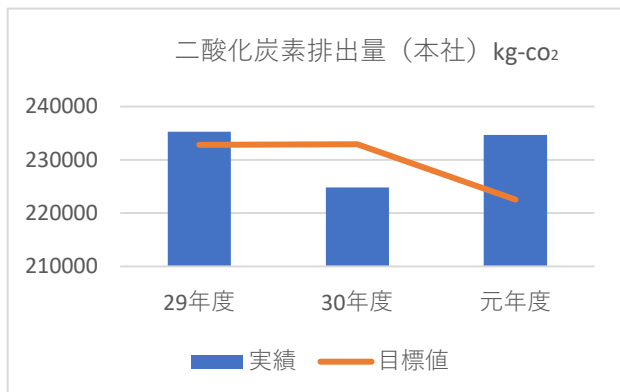
目標項目		エコピア・なかがわ		
		令和元年度		
		目標 平成30年度比 1%削減	実績	達成率
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)		58,179	61,005	95%
2. 廃棄物の削減 (kg)		356	349	102%
3. 水資源使用量の削減 (m ³)		444	346	122%
4. グリーン 購入	コピー用紙 (%)	100%	100%	100%

*達成率計算式 (((目標-実績) / 目標) + 1) × 100%

1. 二酸化炭素排出量の削減（ 本社・エコピア ）

二酸化炭素排出量については、目標を達成できませんでした。

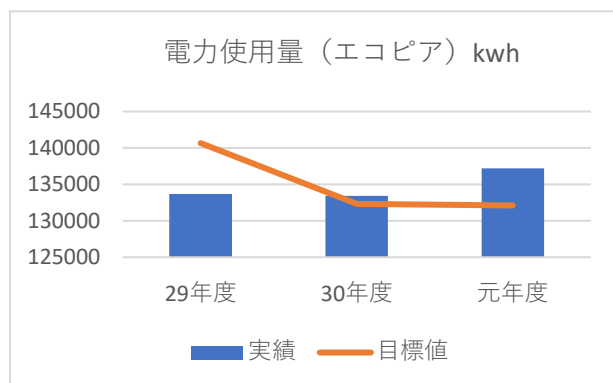
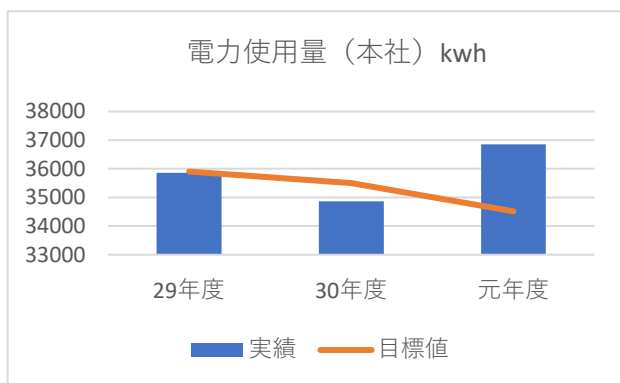
本社及びエコピアともに、化石燃料使用量の増加が目標未達成の要因である。



① 電力使用量の削減（ 本社・エコピア ）

（ 本社 ） 業務拡大に伴い、打ち合わせ等による電力使用量の増加が要因である。

（エコピア）屋外作業の熱中症対策による電力使用量の増加と考える。

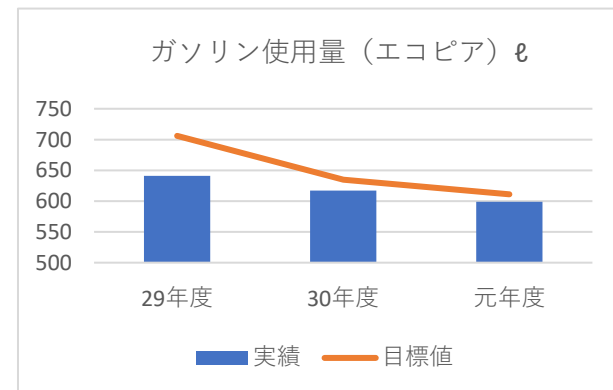
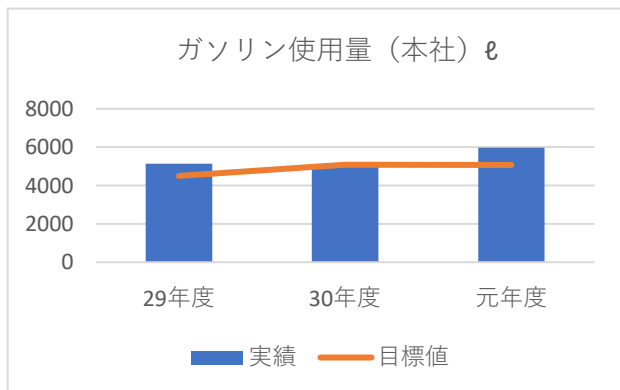


② 燃料使用量の削減（ 本社・エコピア ）

I. ガソリン使用量の削減

（ 本社 ） ガソリン車を使用した業務拡大による増加が原因である。

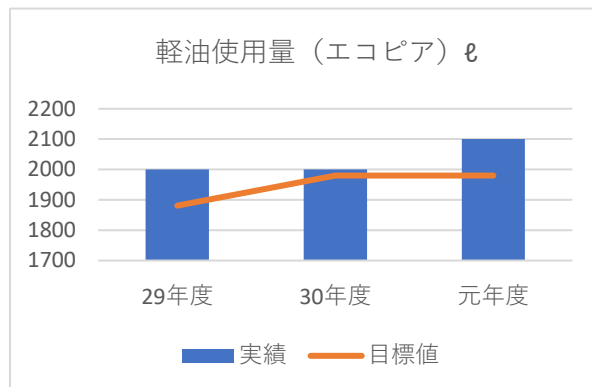
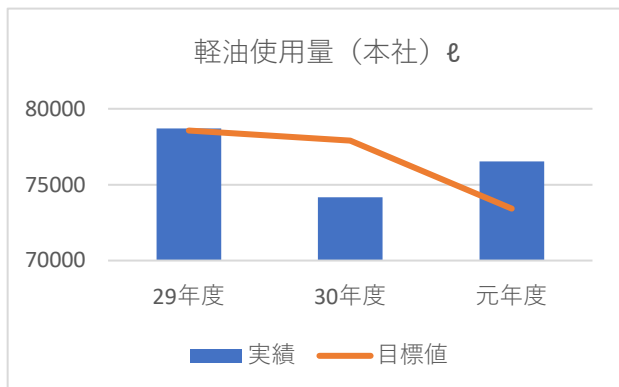
（エコピア） 目標達成



II. 軽油使用量の削減（ 本社・エコピア ）

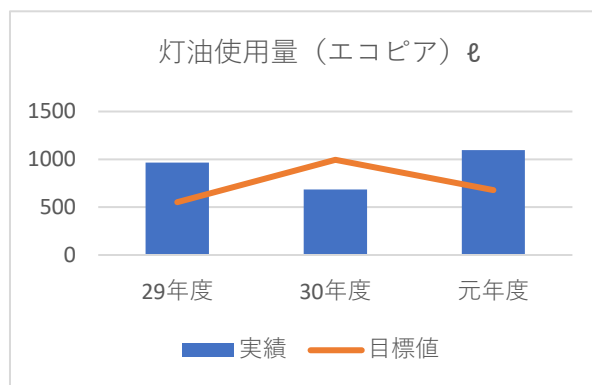
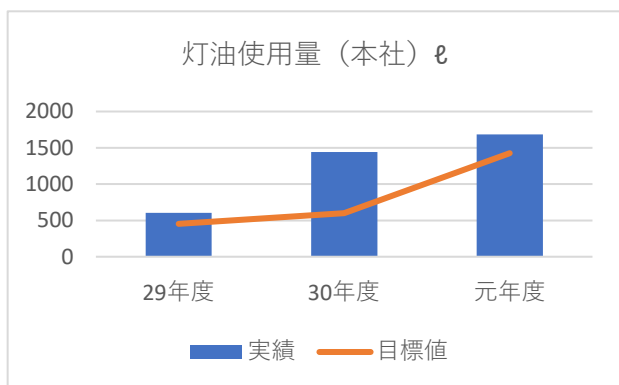
（ 本社 ） 収集運搬増加による軽油使用量の増加である。

（エコピア） 重機の使用頻度（業務拡大）増加によるものである。



III. 灯油使用量の削減（ 本社・エコピア ）

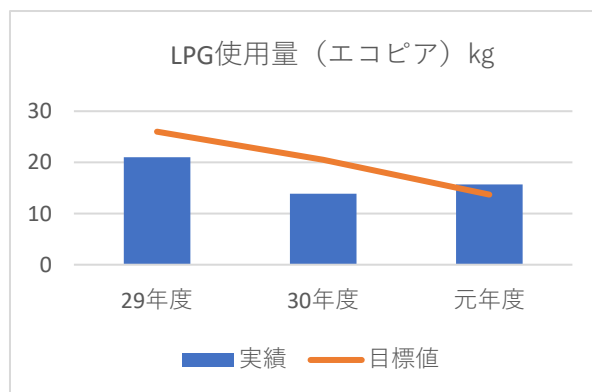
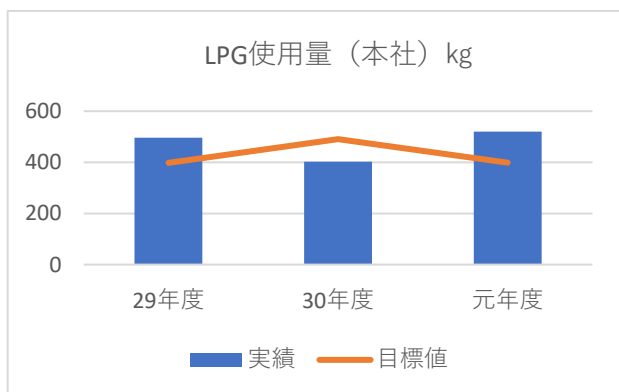
本社及びエコピアともに、清掃の観点から収集車両洗車時の灯油を使用した温水洗車が灯油使用量の増加要因である。



IV. LPG 使用量の削減（ 本社・エコピア ）

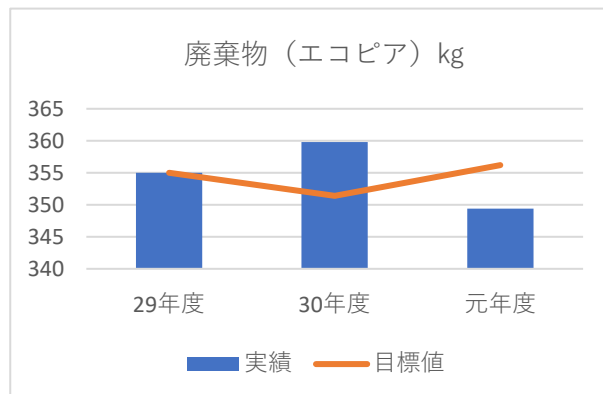
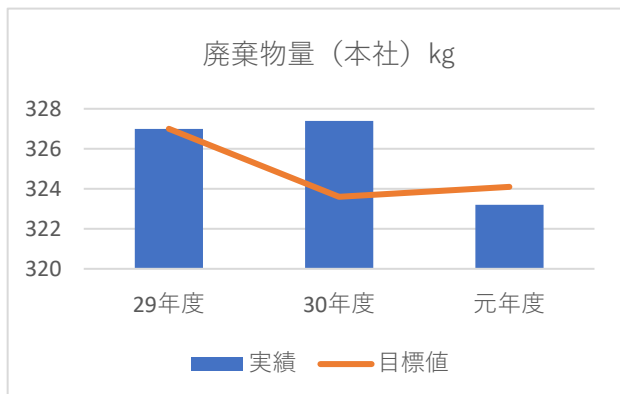
（ 本社 ） 作業終了後のシャワー使用者人数の増加が使用量増加の原因である。

（エコピア） 使用頻度が少ないため、単一的に使用すると目標値を上回ってしまう。



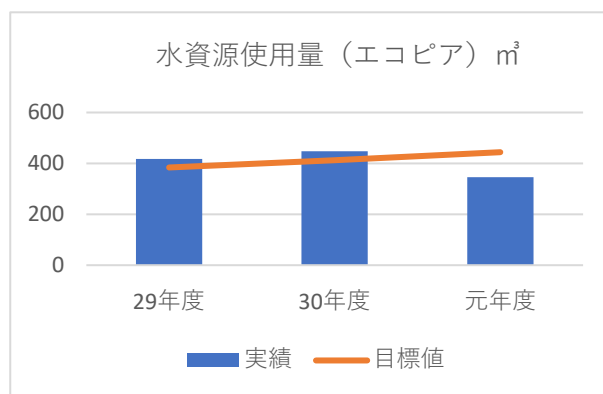
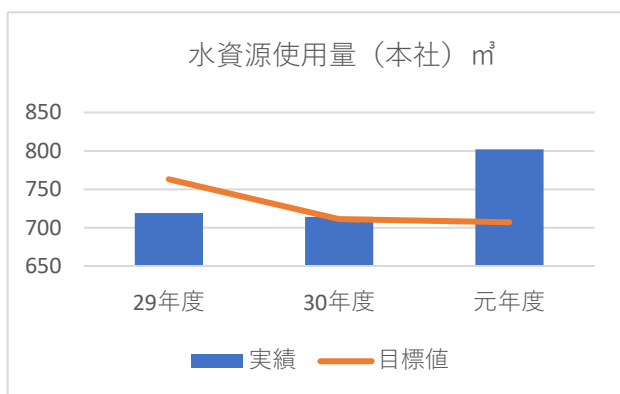
2. 排出廃棄物の削減（ 本社・エコピア ）

本社及びエコピアともに、目標達成となりました。
維持管理を徹底して行うことで、削減達成につながった。



3. 水資源使用量の削減（ 本社・エコピア ）

（ 本社 ）清掃の観点から3S（整理・整頓・清掃）の徹底を行った結果、使用量が増加した。
（エコピア）雨水貯留の使用をうまく取り入れた結果、目標達成につながった。



4. グリーン購入

事務用品等のグリーン購入は、目標を達成しました。
各課からの発注に対して、グリーン購入適合商品等への代替ができました。

5. 本業における環境配慮

教育訓練の実施及び啓発活動（年3回の環境イベント）の実施については、目標を達成することができました。リサイクルを推進、維持するためには住民皆様の協力は必須であり、環境イベントを通し周知また、信頼を頂ける活動を強化してまいります。

VII 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境活動計画の取組結果とその評価

各部門別データを含め、エコアクション21の取組みを機に正確なデータ収集、分析を行っている。

令和元年度データを集計し、令和元年度実績値は平成30年度比1%削減を目標とした。

二酸化炭素排出量の削減及び水資源使用量の削減が目標値を達成できなかった。

部門別評価（省資源省エネルギー・3Rの推進・サービス品質の向上）

[評価・・・目標達成○ 未達成× ある程度達成△]

年度目標達成状況の総括的評価・・・△

対象項目	対象部門	部門評価	評価内容	総合評価
省資源・省エネルギー並びにCO2削減	本社 総務経理部 営業部 事業部1課 事業部2課	△	主に化石燃料使用量が増加した。 要因として、業務拡大に伴う使用量の増加であるが、継続して削減に努める。	△
	エコピア・なかがわ	△	主に灯油使用量が増加した。 収集車両洗車時の灯油を使用した温水洗車が使用量増加の要因である。	
水資源使用量の削減	本社 事業部1課 事業部2課	×	清潔の観点から3S(整理・整頓・清掃)の徹底を図った結果使用量が増加した。	△
	エコピア・なかがわ	○	目標達成	
廃棄物の排出削減	本社 総務経理部 事業部1課 事業部2課	○	目標達成	○
	エコピア・なかがわ	○	目標達成	
グリーン購入の推進	本社 総務経理部 営業部	○	目標値達成	○
	エコピア・なかがわ	○	目標値達成	
本業における環境配慮	本社 総務経理部 営業部 事業部1課 事業部2課 エコピア事業部	○	目標値達成	○

次年度の取組内容

1. 廃棄物収集運搬車両からの二酸化炭素排出量（排ガス）の削減

活動項目
アイドリングストップの徹底実施
空ふかしを行わない
急発進、急加速を行わない。
法定速度の厳守、一定速度運転
車両出庫時の日常点検実施

2. 電力の使用節減による二酸化炭素排出量（排出ガス）の削減

活動項目
事務所、車庫休憩室での休憩時間の消灯
未使用時の設備電源 OFF
冷暖房温度の設定（クールビズ・ウォームビズの推進）
省エネ機器への切り替え導入
排風ファン等の使用を控える

3. 水資源の適正使用への管理

活動項目
車両洗車時、大きなゴミを掃き出し、洗車時の水使用を抑制する
給湯使用時のムダをなくす
トイレタンク容積水量調整による使用量の削減

4. 廃棄物の排出削減

活動項目
排出量の管理
紙類の使用量の削減
再生紙の使用推進
両面活用

5. グリーン購入の推進

活動項目
低環境負荷商品（文房具）の購入推進（本社）
低環境負荷商品（コピー用紙）の購入推進（エコピア）

6. 本業における環境配慮

活動項目
教育訓練の実施
啓発活動の実施

VIII 環境関連法規等の遵守状況

1. 環境関連法規の遵守状況

関連法規	違反訴訟の有無
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	違反なし
特定家庭用機器再商品化法	違反なし
自動車リサイクル法	違反なし
騒音規制法	違反なし
道路交通法	違反なし
指定管理者条例	違反なし
那珂川市個人情報保護条例	違反なし
那珂川市情報公開条例	違反なし
那珂川市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	違反なし
那珂川市一般廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例	違反なし
フロン排出抑制法	違反なし
労働安全衛生法	違反なし
消防法	違反なし

2. 違反、訴訟の有無

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、環境関連法規等への違反はありません。関係当局よりの違反訴訟などの指摘も過去5年間ありませんでした。

IX 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度は、おもに化石燃料使用量の増加が未達成となっておりますが、業務拡大による使用量の増加が考えられるため、各項目ごとの使用頻度管理及び削減事項（環境保全）に対する教育を実施し、一人一人の意識向上を目標にかかげ、働き方改革に沿った職場づくりを推進することで目標達成に向け引き続き会社、個人それぞれ消費の削減に努め、環境への配慮を欠かすことなく事業を継続してまいります。